

平成 20 年度 指定管理者施設管理評価シート

部

教育委員会

課

生涯学習課

施設名	社会教育センター		指定管理者の名称	株式会社 山武		
1. 指定管理者の概要						
①業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事の施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
②類似施設の管理実績	(平成20年3月末現在) 東京都北区滝野川体育館他14施設					
③経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	[単位：百万円]	
	平成17年度	63,341	52,468	10,872		
	平成18年度	67,640	53,489	14,151		
	平成19年度	71,441	54,176	17,265		
2. 施設の概要						
①所在地	台東区東上野6-16-8 上野小学校と併設					
②設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教養の向上に助力する。					
③利用者	社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体、教育委員会や社会教育館が行う事業に参加する区民、その他一般団体					
④開館日・開館時間	火曜日～日曜日、第2・4月曜日：9時～22時、第1・3・5月曜日：13時～21時 休館日：祝日（元旦除く）9時～22時、年末年始（12/28～1/4）					
⑤規模	ホール130人 会議室40人 調理室32人 和室20人 温水プール 25m×15m（7コース）					
⑥人員体制	週40時間勤務 8人 週30時間勤務 3人 (清島温水プールを含む)					
3. 事業（サービス提供）の概要						
①委託事業	1. 区民の生涯学習・社会教育活動への施設の提供 2. 生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 3. 施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 4. 生涯学習ラーニングスクエアの実施					
②自主事業	各種講座事業及び物品販売事業					
4. 施設の稼働状況等						
		利用件数	利用人数	利用率		
	平成18年度	1,670件	29,420人	43.8%		
	平成19年度	1,970件	31,324人	47.6%		
5. 予算決算の推移 (単位：円)						
	年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	—	142,256,000	141,945,000	84,400,000	
	料金収入等	—	12,300,000	14,000,000	2,500,000	
	管理経費	—	154,556,000	155,945,000	86,900,000	
決 算	委託料	—	141,870,044	141,443,880		
	料金収入等	—	9,216,460	8,578,735		
	管理経費	—	149,701,300	146,764,818		
	収 支	—	1,385,204	3,257,797		

6. 評価項目		3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 —：評価対象外項目	
評価の観点	評価項目		
①事業の運営 平均 [2.2]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [3]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [2] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [3] (10)警備・防犯体制 [2]	
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]	
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [2]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [2]	
④歳入歳出 平均 [1.8]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [1] (4)利用料等の徴収・管理 [2]	
7. 評価		A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	
評価の観点	評価	説明	
①事業の運営	A+	館まつりを実施し、社教センター・教育館のPRをしているが、さらに認知度を高めるためには、自主事業の拡大、充実も今後の課題である。	
②施設の維持管理	A	区からの申し出に対しての対応は適切に行われており、省エネにも努力している。施設の維持管理においても、自主的な対応が行われている。	
③利用者の満足度	A	利用者からの評価はおおむね良好であり、指定管理者制度導入後も利用者数が増加傾向にある。	
④歳入歳出	A-	歳出については適正に行われているが、歳入は事業計画上の目標に近づけるよう努力が必要である。	
⑤総合評価	A-	指定管理者として2年間管理運営を行ってきたが、さらに利用率を拡大するため、自主事業の工夫や広報活動を強化していく必要がある。	
8. 課題への対応等			
<p>利用率を上げるための広報活動に積極的に取り組む、自主事業の充実を図るなど、さらなる努力を継続していく。</p> <p>また、各教育館との連携をさらに緊密なものとしていく。</p>			